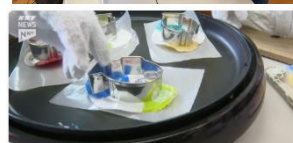
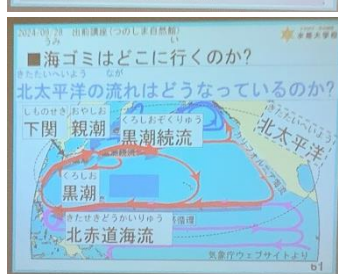
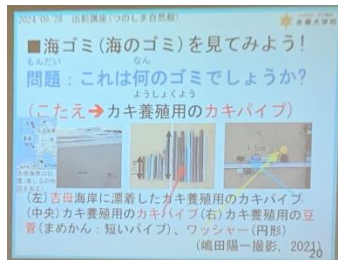


出前授業…「マイクロプラスチックが海の生物に大きな影響を」

2024.09.28 (土) 実施



水産大学校
嶋田 陽一さん



ホネの学校：キーホルダー作りの様子



講師と出前授業：「海ごみについて」講義の様子
KRY ニュースより



下関北高探究科：授業の様子

検索

KRY>NEWS>マイクロプラスチックが海の生物に大きな影響を…山口・下関「つのしま自然館」で特別授業

今から 21 年前 (2003 年) に、「角島エコ・アイランド整備事業」で建設された「角島ビジターセンター (つのしま自然館)」。山口県の「生物多様性の推進」に向けて、9 月 12 日 (木)、県と下関市、豊北町自然観察指導員会の関係者が集まり、「つのしま自然館の運営に関するワーキンググループ」第 1 回会議を開催しました。自然館の現状と今後の課題について共通認識をもち、特に急ぐ項目について協議しました。

今回、関係機関のご協力をいただきながら、少しずつ古くなった展示等のリニューアルに取り組んでいます。9 月 1 日 (日) より靴箱をなくし、土足のまま入れるようにしました。今後、来館者に喜んでいただけるような体験活動などを増やしていく予定です。

9 月 16 日 (祝) には、福川こどもクラブによる「出張！こども探検隊 in つのしま『ホネのがっこう』」が行われました。最初に、講師からツノシマクジラの骨格の特徴について、話がありました。次に、クイズ形式で里山にいる生き物の骨を触りながら、何の生き物かを当てました。次は、鹿の角を使ってのアクセサリ作り、そして最後に、紙芝居を通して交通事故で一番亡くなるタヌキから、人間と生き物の共存について学びました。

9 月 25 日 (水) には、下関北高校 2 年生 4 名が探究科の授業の一環として、ユリヤガイ (世界で 9 種類確認されているうち、大浜海岸で 3 種類確認されている巻貝) について説明を聞き、実際に海岸での採取でユリヤガイを見つけることができ、生徒たちも喜んでいました。

9 月 28 日 (土) には、水産大学校の嶋田陽一先生を講師に、出前講座「ボトルキャップがキーホルダーに！」を実施しました。最初に、講師からプラスチックごみが海の環境に与える影響の話がありました。「マイクロプラスチックは生物が間違えて食べてしまうことがある。特に魚とかマイクロプラスチック以外でも網に絡まって死んでしまう。」という話に、改めて角島の自然を大切にしていかなければいけないと感じました。次に、参加者が協力して、漂着ごみに多いペットボトルのキャップを使って、キーホルダーを作りました。最後に講師から、「作ったキーホルダーをカバンなどにつけて海ごみの問題を忘れないようにしてほしい。」と話されていました。参加者の子どもの感想に、「海ごみを食べた魚を釣ったのを人間が食べてしまうから返ってくるんだと思った。ポイ捨てしないことが一番いいと思う。」とありました。まず、我々大人が海ごみの起こす問題について、再認識する必要性を感じました。

なお、次回は 10 月 19 日 (土) に「火起こし体験会」、10 月 27 日 (日) に角島牧崎風の公園で、「ダルマガクの植苗」を予定しています。